

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ポラリスひろば桔梗教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日課や運動の活動を通してワーキングメモリを鍛えながら脳機能の向上を図ることが出来る。	日課では視写や数字ランダム、視知覚トレーニングなどの課題でワーキングメモリの強化や、活動に飽きこないよう月に1回程度変更を行っている。	難易度を調整し脳にとって丁度良い負荷を掛ける事でさらなる機能の向上を図る。
2	集団生活や行事を通してコミュニケーション能力や公共施設での過ごし方などの社会性を身に付ける機会がある。	休み時間に集団で遊べる遊びで他児と関わる機会を増やしたり、室内行事だけではなく様々な場所に出かけたり買い物をしたりなど社会に触れる機会を取り入れるようにしている。	地域のイベントや外食等で金銭管理や外出先でのマナーなど様々な場面を経験してもらうことで対応する力や社会性の幅を広げていく。
3	小学生から高校生まで通所しているので年上、年下の子との関わり方など、対人関係のスキルを学ぶことができる。	適切な関わり方を伝えたり出来ている時はその都度褒めたりしながら行動の定着を図っている。また、その子に応じてSST教材学習の時間に提供している。	他の子と協力して行う活動を増やしコミュニケーションを取る機会を今まで以上に増やしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員数の人数や職員の男女のバランス。	正職員が少ない事でその日に勤務できる職員に隔たりができてしまったり、必要な日に職員を確保することが難しい日がある。	人員が足りない時は勤務調整を行うこと、来年度に向けて人員の確保を行いゆとりのある人数と男女バランスの取れた職員体制を整えていく。
2	保護者の方が普段どのような活動を行っているのか、また活動の内容にどのような意味があるのか十分に伝わっていない。	送迎時にその日の様子を伝えてはいるが、活動の目的等の説明が不足してしまっている。	帰りの送迎時にその日の様子だけではなくどのような活動を現在行っているのかどういった意図で取り組んでいるのかという点もお話していく。 どういった目的で行っている活動なのか、どういった視点からアプローチしている内容なのかなど職員自身がしっかりと理解し、共通の認識で日々の療育を行う。
3			